

令和6年度 特色ある道徳教育推進校
県立八日市場特別支援学校

研究主題

豊かな心を育む授業づくりを目指して

取組1 小学部 生活単元学習

小学部では、サブテーマを「友達や教師との関わりから一緒に活動する楽しさを味わい、思いを自分なりの方法で表現しようとする姿を引き出すために」とし、いろいろなものに触れたり、感じたりなど、体験することが学習において重要であると考えている。

授業展開した生活単元学習「Let's秋祭り～力を合わせて お・も・て・な・し！～」では、7月に行った「夏祭り」に続き、「秋祭り」をテーマにして行い、たこ焼き屋とトントン相撲の出店や装飾して展開した。そこに学年の友達を招待して、学級の枠を超えて楽しさをみんなで共有できる秋祭りを催した。

工夫1 自分で活動できる状況づくり

自分の役割が分かって、進んで取り組むことができるように、接客マニュアルを用意して、注文からお渡しまでの流れを分かりやすくしたり、児童の得意な動きに合った役割を設定し、分担したりするなどの工夫を行った。

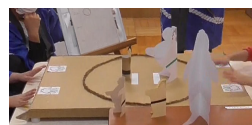


写真1：トントン相撲

工夫2 楽しさやうれしさを共有できる場の設定

学年の友達も教師もみんな秋祭りでの楽しさを共有できるように、トントン相撲（写真1）を通じて友達同士の対戦をしたり、応援をしたりして盛り上がる一体感を大切にした。

「道徳教育の視点に立った授業づくりシート」を活用して、本単元に関する道徳教育について確認をした上で、授業づくりのポイント（活動内容・活動量、場の設定・配置、教材教具・補助具、教師の関わり）に沿って授業実践、改善を行った。事前に本単元の活動が道徳の内容項目のどこに該当するかについて複数の教師間で考えたり、単元中にトントン相撲を行っている友達を応援できる場の配置にするなど授業改善につなげたりすることができた。

取組2 中学部 特別の教科道徳

中学部ではこれまで、年間で3回程度、特別の教科道徳の授業を実施していた。今年度は全校テーマである「豊かな心を育む授業づくりを目指して」を受けて、サブテーマを「道徳の授業実践を通して」とし、年間8回の道徳の授業で研究を進めることとした。

授業展開した特別の教科道徳「友達の考えを知ろう！」では、好きな給食のメニューや季節とその理由について考える場面を設定した。友達の考えを聞き、これまでの自分自身の考えにはなかった季節ごとのイメージを知ることによって普段の生活をより豊かなものにしてほしいと思い、本単元を行った。

工夫1 生活に関わりのあるテーマ

どの生徒も考えたり、相手の意見を聞いたりすることができるように、その日の給食のメニューやみんなが知っている季節について取り上げた。

工夫2 発表しやすい場の配置

座席を生徒同士の顔が見やすい馬蹄形の配置にすることで安心感を与え、自分の発表や友達の意見や感想を座ったまま行い、気軽に発言できる雰囲気づくりをした。

工夫3 いいねボットの活用

「いいねボット」とは、SNSでよく使用される「いいねボタン」に見立てたボットで、友達の意見について賛同や称賛、相手の意見を尊重するときに使用した。

取組3 高等部 作業学習

高等部は、サブテーマに「主に作業学習における主体的な学びの姿を通して」を設定した。日課の中心である作業学習において、教師が道徳的な視点を意識することで、生徒一人一人の道徳的な学びの姿を見出すことにつながった。具体的には「道徳教育の視点に立った授業づくりシート」に沿って、従来の授業づくりの視点と道徳教育の視点とを関連付けながら、生徒の道徳的な行動や姿を捉え、多くのエピソードを集めた。生徒の様子を教師間で情報交換し合い、道徳的な学びの姿を協議することによって、作業学習で高めることができる道徳的価値を明確にしたり、有効な手立てや支援方法を共有したりすることができた。

部内研究会の授業展開（手工芸班、園芸班、木工班）では、以下のような道徳的な学びの姿が見出された。

工夫1 全員が向き合う場の配置

場の配置の工夫をしたことで、手工芸班で「織り」を担当するAさんが、先輩の働く姿や技能を間近に見て学び、自分の技能をさらに高めようとする姿が見られた。（写真1）。「道徳の内容項目」に照らし合わせると、中D（22）「よりよく生きる喜び」に当てはまる。

工夫2 掲示物の工夫

園芸班では、「団結して」という作業目標（写真2）を掲げたことによって、自分だけではなく友達の活動にも関心を広げ、「〇〇さんがこれを頑張っていた。」という発言が増えた。これは、小3、4B（9）「友情、信頼」に当てはまる。木工班では、製品づくりの工程を図示したロードマップを掲示したことにより、班の仲間が協力して一つの製品を完成させていることが一目で分かるようになった。これは、小5、6C「よりよい学校生活、集団生活の充実」に相当する。

今後さらに、高等部の日常生活全般の場面において、道徳教育の視点を取り入れた支援の工夫や手立ての見直しを継続して行っていく必要がある。



写真2: 織りを担当するAさん

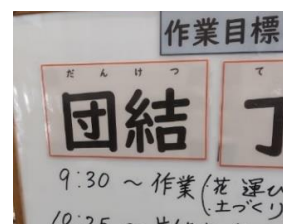


写真3: 園芸班の作業目標

取組4 全校の取り組み

全体計画の確認、内容項目のキーワード化

4月に全職員で道徳教育全体計画や教師が道徳の内容項目についてイメージが湧くようなキーワード一覧の資料を確認、共有することで、道徳教育に対する理解が深まった。

道徳教育の視点に立った授業づくりシート

これまで本校の研究で大切にしてきた授業づくりのポイント（活動内容・活動量、場の設定・配置、教材教具・補助具、教師の関わり）に道徳教育の視点を追加したシートを活用し、児童生徒の変容を追ったり、道徳に関するエピソードを集めたりすることができた。

主な成果と課題

- 学校全体で道徳教育について研修を行ったり、道徳教育を意識して授業づくりをし、授業実践や授業改善をしたりすることで、教師の道徳教育に対する理解が深まった。
- 展開する単元で道徳に関する目標を設定し、授業実践したことで、進んで目の前の学習に取り組んだり、友達と一緒に活動したりするなど道徳的な姿を引き出すことができた。
- 児童生徒の道徳性については、長い目で変容を追っていったり、展開する授業だけではなく日常の学校生活の中から道徳に関するエピソードを集め、授業改善につなげたりする必要がある。

1 単元名 「友達の考えを知ろう！」

2 ねらい 内容項目 中学校 B(9) 相互理解、寛容

自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めていくこと。

3 単元について

(1) 生徒観

中学部の道徳は、年8回実施しており、実態を考慮した四つのグループで編成されている。

Bグループのこれまでの道徳では、身近なこと、生徒全員が一緒に考えられることとして、給食をテーマに取り上げた。学習当日の給食のメニューから好きな食べ物や嫌いな食べ物について考え、ワークシートにその理由を記入してから発表した。始めは書いた内容をそのまま発表し、周りの友達は聞くという様子だったが、授業を重ねるごとに、友達の考えが、自分と同じ考えだと気が付くと、「僕と一緒に。」と賛同したり、違う考えを述べた生徒に「え、そういう理由なの。」と驚きを伝えたりする生徒も出てきている。

(2) 単元観

本単元は、好きな給食のメニューや天気、学校生活の中で頑張っていることなどを学年の違う友達同士で発表し、学級の友達以外の考えを知る機会を設けている。

本時は、好きな季節とその理由について考える場面を設定する。春、夏、秋、冬という四季の存在や日本以外の国では四季がない国があることにも触れ、四季があることで季節に応じた楽しみがあることや季節ごとに感じ方、表現の仕方で違いがあることに気が付いてほしい。また、友達の考えを聞き、これまで自分自身の考えにはなかった季節ごとのイメージを知ること、普段の生活をより豊かなものにしてほしいと考え、本単元を設定した。

(3) 指導観

本単元の指導に当たっては、発表内容を一度書き出し、伝える内容を整理してから発表できるようワークシートを用意したり、イラストや写真を見ながら発表し合うことで、言葉だけでなく、映像から情報を共有しやすいようタブレット端末を活用したりしながら取り組んでいく。座席を生徒同士の顔が見やすい馬蹄形の配置にすることで安心感を与え、自分の発表や友達に対しての意見や感想を座ったまま行うことで気軽に言えるという雰囲気を作っていく。

授業の導入では、1学期と同様にその日の給食のメニューについてお互いの感想を発表し合い、会話を楽しんだから展開に入るようにする。

展開では、好きな季節とその理由について考え、ワークシートに記入してから発表していく。一人の発表が終わるごとに、友達の考えについてどのように感じたか「いいねボトル」を立てる機会を設ける。「いいねボトル」とは、SNSでよく使用される「いいねボタン」に見立てたボトルである。友達の意見について感じたことが「いいね、その考え」(賛同や称賛)、「へえ～そうなんだ」(相手の意見を尊重)など、「いいねボトル」を立てる考えは様々である。「いいねボトル」を使用することで、発表する生徒は、自分の考えに何かを感じてくれた人がいるという喜びを感じられる。

終末では、振り返る時間を設け、ワークシートに、新たな考えや考えの変化を記入し、発表するようにする。学習を通して季節に対してのものの見方や考え方を深めていってもらいたい。

4 単元の目標

- ・自分の好きな天気や季節、スポーツ大会に関して頑張ったことについて、自分の考えをワークシートに記入し発表することができる。
- ・友達の考えを知ること、自分のものの見方や考え方を豊かにすることができる。

5 本時の指導

(1) 本時の目標

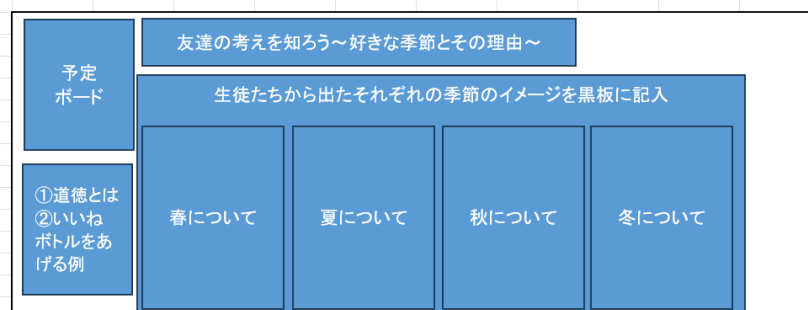
- ・好きな季節やその理由を考え、自分の言葉でワークシートに記入し、発表することができる。
- ・友達の考えを聞き、その考えに対していいねボトルを立てたり、思ったことを自分の言葉で友達に伝えたりすることができる。

(2) 展開 (3時間／3時間目)

時配	学習活動	指導・支援上の留意点／評価 (☆)	教具／資料等
導入 (8分)	○始めの挨拶をする。 ○本時の説明を聞く。 ○今日の給食の中で好きな食べ物やその理由について発表する。	・本時の活動内容が分かるように予定ボードに記入し、黒板に提示する。(T1) ・給食の写真を提示しながら、好きなメニューについて聞いていくようにする。 ・発言が難しい生徒には、タブレット端末の写真から指差しなどで示すように伝える。(T3)	・予定ボード ・TV ・タブレット ・いいねボトル
展開 (32分)	○好きな季節とその理由をワークシートに記入する。 ・季節ごとのイメージを発表する。 ・ワークシートに自分の考えを記入する。 ○自分の考えを発表したり、友達の発表を聞いたりする。 ・発表者の考えに対して、気になる部分があれば、いいねボトルを立てる。	・季節ごとのイメージは、ワークシートへの記入の手掛かりにできるよう黒板に板書していく。(T4) ・季節をイメージできるイラストや文字の入った季節シートを配付する。(T1) ・季節シートから選んでもよいことや、シートの中の好きなものに○をつけてもよいことを伝える。(T1) ・気になる部分について、発表内容を復唱し、理由について全員で確認できるようにする。(T1) ☆好きな季節やその理由を考え、自分の言葉でワークシートに記入し、発表することができたか。(行動観察) ☆友達の考えを聞き、その考えに対して、いいねボトルを立てたり、いいねボトルを立てた理由を友達に伝えたりすることができたか。(発言)	・ワークシート ・ふりかえりシート ・いいねボトル
終末 (10分)	○ワークシートに再度自分の考えを記入し、発表する。 ○終わりの挨拶をする。	・始めのワークシートから選ぶ季節が変わったり、理由が増えたりした部分を発表するよう伝える。(T1) ・友達の考えを知ることができたことや自分の季節への見方や考え方に変化があったことにふれ、まとめとする。	

6 授業の様子

(1) 板書



(2) 参観者の感想

- ・道徳は「自分以外の人の考えを知る授業であること」と最初に確認しているのが良かった。
- ・馬蹄形の座席配置や着席した状態での発表など、意見が出しやすい雰囲気を作られていた。
- ・授業の中で否定的な言葉が一切使われていないこと、どんな意見も受け入れてくれていることで、生徒が楽しい授業と感じている。